



大坪地区の概要

大坪町は、伊万里市の中央部に位置する。旧石器時代から縄文時代にかけて腰岳の黒曜石文化（加志田遺跡）の一角となり、弥生時代の午辰遺跡等から、上伊万里周辺や古賀一帯は、伊万里の中心地であり生活の拠点であったと考えられている。明治4年9月には伊万里県が誕生。県庁舎は、円通寺に仮設し、新庁舎を同年9月より着工する。翌年5月には佐賀県となり、庁舎も佐賀水ヶ江に移る。明治22年町村制施行の際、今岳・町裏、新田の3ヶ村が合併し、「大坪村」と改称。昭和18年伊万里町、大坪村、大川内村が合併して伊万里町と改称する。

昭和29年市制誕生で伊万里町から分離され、大坪町となる。この時、大坪小学校校舎を市庁舎として開庁し、昭和48年新市庁舎移転まで市政の拠点となる。現在は、大坪公民館として、社会教育、文化学習施設として機能している。

人口増に伴い、立花小校区と分割され、栄町、みどりヶ丘、あさひヶ丘、つつじヶ丘と新興住宅地が形成されている。更に、福岡市、唐津市、佐賀市等の文化及び行政の拠点都市を結ぶ東の窓口に位置し、西九州自動車道等の開通及び国道等の整備は、地域の振興と活性化に寄与すること大である。

伝統（伝承）行事

・トントン祭り

伊万里神社神幸祭（10月22日～24日）のうち、荒神輿と団車の巡行行事を特に「伊万里トントン祭り」という。南北朝時代の故事にならって、団車は足利尊氏方の水軍を、荒神輿は楠木正成方の陸軍をあらわすと伝えられている。荒神輿の掛け声は「チョーサンヤ」、団車は「アーヨーイットナー」の掛け声で巡行する。合



戦場に着くと挑発と戦意の掛け声で双方競り合って相手方をひっくり返し勝負を争う喧嘩神輿。日本三大喧嘩祭りの見せ場は、最終合戦で双方四つに組み合ったまま、伊万里川への「川落とし」は壮観である。大坪地区は、戦後より出番の役を担う。

・古賀のつうわたし（今岳権現祭）

毎年12月14日夕方から祭礼の「つうわたし」行事がある。今岳権現の分霊を前年世話した当番（つう）から来年の当番に引き渡す行事である。前年の神座（会所）に来年の当番を招いて酒宴、神座（会所）及び役割は、クジで決め、定められた衣装で顔に墨で隈取りし「今岳大権現」の旗を先頭に塩ぶり・賽銭箱持ち・大権現（神座主）・神官・山法師（法螺貝を吹く）・長持ち・人足・お供の行列順で古賀の各組の会所でお祓いをして廻り、最後に来年の神座に今岳大権現の分霊を安置する。

・山王神社の御田祭

山王神社は、大山咋神を奉祀する。毎年春・秋に行うが12年に一度の申歳の4月初申に「大御田祭」が3日間行われる。明治29年4月までは、一番申、から一週間執行されていた。大御田祭は、農作物の豊饒祈願、氏子の平穏息災、国家安泰繁栄を祈願するために行う。

・白ん坊さんの初午

初午祭りは、3月初午の日に行われる。往時は、参道の山路に露店が並び、遠近の参詣人で賑わっていた。現在は、神殿で神事があり、五穀豊饒・商売繁盛・村中安全を祈願する。神事が終わり、直会（なおり）となり、生鯛のボタ焼などを食べ歓談のひとときを過ごす。白ん坊さんの名物「かんねだご」は、土産に喜ばれている。

史跡めぐり

① 午辰遺跡

縄文時代から中世までの複合遺跡。遺跡の中心部は、弥生時代中期から終末期（3世紀頃）にかけての墓群。石棺墓から青銅鏡、多数の玉類、鉄製の道具が発掘された。鏡は、後漢時代頃、中国で作られた物で王のような有力者の権威の象徴と考えられており、3世紀頃の伊万里地方に王のような有力者がいた証拠で、発掘した遺物は歴史民俗資料館に展示されている。

② 五輪塔（太導神社）

大正11年建立の「太導神社」の石祠がある。太導駿河守は元禄前の有名な武士で、大きい五輪塔が二基残っていたのを観音堂境内に移し祠を建て祀ったのである。五輪塔は、市内で最も古いのではないかと注目されている。五輪塔の側には、「妙春信女靈尼」の碑があり、この駿河守の墓守らしいと伝えられる。元禄7年建立である。

③ 慈雲山円蔵寺跡

円蔵寺地名発祥と窺える。江戸時代「済家宗由緒寺社差出」の古文書に松浦郡町裏村に慈雲山円蔵寺という寺があり廣福寺の古記録によると円蔵寺は、武雄町蓬萊山廣福護國禪寺の末寺であった。寛政元年（1789）廃寺となる。廃寺後は、地藏堂が建てられ、春秋両彼岸には伊万里新四國巡りの礼所となっている。

④ 円造寺公園（水源地跡）

伊万里町水道浄水場として大正4年1月に竣工落成。

県内では初めて、九州では4番目で、当時の中村千代松伊万里町長の一大功績事業だった。町の大部分が埋立地のため飲料に適する井戸が少なく困っていた。熱心に研究し伊万里川の水を円蔵寺の高所へポンプで揚水する方法を考案し理想的な水道施設を建設した。昭和40年に給水区域の拡大で水源が有田川に変わり浄水場は廃止され、現在公園として桜や藤の咲く憩いの場となっている。



⑤ 中村千代松翁之碑

伊万里町上仲町生まれ。市町村制施行（明治22年）と同時に町会議員、郡会議員、県会議員として県郡政の発展に寄与。明治26年4月～大正10年8月まで第2代伊万里町長として重選8回在職28年余、町政に貢献した。没後旧伊万里町役場に銅像が建立されたが、大東亜戦争に銅像供出、台座のみ残る。これを円造寺公園に移設し新たに碑を建立し功績を讃える。

⑥ 十三塚神社

英彦山十三塚社宝暦5年乙亥（1755）建立の碑があり、当時稲の穂枯れ甚だしく五穀豊饒を祈願し英彦山権現を勧請したといわれている。昭和11年建立の記念碑に往古、池の畔の大蛇を射止め13に切り冠ヶ原に葬った旨の伝説。13ヶ所にあった土盛の塚が削られ消滅を避けるために石塚に改修合碑された。



⑦ 前田くしや

大庄屋屋敷「前田家住宅」国登録有形文化財建造物（平成13年8月28日登録）22世紀に残す佐賀県遺産第1号認定。前田家は江戸時代に伊万里郷の大庄屋を代々つとめ、屋敷地は南北に細長く、約千坪ほどある。規模は県内でも最大規模で、屋根は茅葺で佐賀の民家の特徴の「くど造り」である。鍋島の殿様も宿泊され、庭は風雅で漢学者古賀精里の命名で漪園（いゑん）と名付けられた。江戸後期の学者、文人、墨客等々の遺構や遺品も多い。



神社・寺院案内

⑧ 伊萬里神社

社前に涓水の清流を臨む香橘の丘（岩栗山）にあり、緑の老夫婦楠木は健康で長寿を望む人のお守りとなっていて、古くは「香橘神社」と呼ばれていた。昭和の半ば「戸渡嶋神社」「岩栗神社」を合祀して伊万里神社と改称し、境内にはお菓子の神様中島神社やお菓子王森永太郎の胸像もあり、神幸祭として、トントン祭りや毎年10月に3日間挙行されている。



⑨ 山王神社

祭神は大山咋神とし、山を支配し守る神、また豊作の神として白野区で奉祀され、春と秋に例祭が行われる。広く大坪地区住民の尊崇している元村社である。創建年代は不明だが、鍋島藩主歴代の崇敬社である。仁比山神社の分霊を勧請して祀ったと伝えられている。奉加寄進控覚に文化9年壬申（1812）社殿建立とあり昭和21年神社本庁より「元村社格に列す」と認可された。申歳4月には、大御田祭が3日間にわたり盛大に執行されている。



⑩ 今岳神社（今岳城跡）

今岳神社は、寛政5年（1793）に神殿と拝殿を造営。現在の神拝殿は、大正5年改築。境内には、空洞、玄武岩塊があり、150～200年程の杉、檜、柵ノ木、櫻、バクチの木等の老樹林が聳え立つ。噴火の際、火道を埋め固まった火口の中に社殿があり頂上迄約100m六角亀甲状の断層と柱状節理の岩山である。伊万里城の本城ではなかったかとの説が強い。



⑪ 若宮神社

元正19年（1591）文禄慶長の役の折、松浦領主の祈禱所と定められ諸大名が武運を祈願したといわれている。寛永3年伊万里郷今岳村に新たに霊地を営み神霊を奉安して今日に至っている。若宮大明神は、京都より勧請して牛馬の守護神として祀られている。



⑫ 八坂神社（地北城跡）

戦国（足利幕府）時代の永徳4年（1384）第1回松浦一揆契諾状の伊万里武士団の中に「ちきた若狭守助」の署名が有り地北城の主と思われる。地北氏の守護神として八坂神社を勧請したと伝えられ城跡の一角には50mにわたり塁跡がある。昭和54年に市指定重要有形民俗文化財の石造物群がある。境内には、本殿中殿、拝殿があり柳井町・祇園町・六仙寺の氏神として須佐男命を祀っている。



⑬ 白野坊稲荷大明神（通称白ん坊さん）

古く由緒ある社だが創建は不明である。明治3年に再建され、その西下には狐が住むという岩洞窟がある。往時は古松蒼生し絶景の地であった。昭和8年に里道改修。記念樹の桜並木。平成10年社殿改築。



⑭ 廣宜山 妙顕寺（日蓮宗）

応永9年（1402）市内清法華谷に開創され、開山は妙顕院日性上人。その後、長谷（慶長年間）市内朝日町を経て明治32年に現在地に4回目の移転をした。歴代上人や院代は活動家で町民が飲料水に苦勞するのを助ける取水堰を改良、本堂には鬼子母神像、銅造誕生仏（県重要文化財、県保管）も祀り信仰者が多い。



⑮ 壽月山 教法寺（浄土真宗本願寺派）

慶長13年藩祖鍋島直茂は伊万里湾の瀬戸と長浜に塩田を計画黒田藩姫浜から多数の製塩技術者や工事従事者を呼び、開基釈祐法師は志願して移住し此の地に建てられた寺が教法寺といわれる。その後伊万里下町に移り、大火に会い記録書類を消失現在地に移転した。現在の本堂は明治9年に改築再興された。



⑯ 松栄山 西念寺（浄土真宗本願寺派）

松栄山の名のとおり松浦（党）が栄えるために建立された。当初は、松浦町山形の地にあり500年以上の歴史をもつ今岳城の寺であった。今岳城落城の折（室町時代末期）、城主の娘が残した古文書がある。

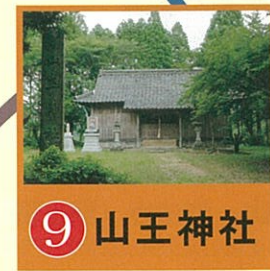
発行者

大坪地区まちづくり運営協議会

お問い合わせ 大坪公民館 TEL0955-23-9898
〒848-0021 伊万里市大坪町甲 2863-1

大坪地区史跡ガイドマップ

大坪地区の史跡を探訪してみましよう!



- 1 午辰遺跡**
- 2 五輪塔**
(太導神社)
- 3 慈雲山円蔵寺跡**
- 8 伊萬里神社**
- 19 敬徳高校**
(旧伊萬里商業学校跡地)
(旧実践女学校跡地)
(旧伊萬里高校跡地)

- 22 町裏小学校跡地**
- 23 大坪小学校跡地**
- 25 都川内ダム**
- 26 薬師堂**
- 27 古賀小学校跡地**

